

民主が3議席



1区で当選確実となり、喜びを爆発させる宮崎氏(中央)と支持者ら
=30日午後8時50分ごろ、前橋市南町の選挙事務所

県内小選挙区

自民重鎮を下す

福田、小淵氏
議席を維持

三宅氏、比例で復活



石関氏(2区)



柿沼氏(3区)



福田氏(4区)



小淵氏(5区)

第45回衆院選は30日、

投票が行われ、即日開票の結果、県内5小選挙区のうち1、3区は民主党が議席を獲得した。自民党は4区の福田康夫前首相(73)、5区の小淵優子少子化担当相(35)が議席を維持したものの、福田氏は民主新人の三宅雪子氏(44)に激しく追い上げられた。三宅氏は比例で復活当選。

民主の当選は1区が新人の宮崎岳志氏(39)、2区が前職の石関貴史氏(37)、3区が新人の柿沼正明氏(43)。民主は政権交代の必要性を前面に選挙戦を展開。麻生内閣の支持率低迷もあって3回連続で5議席を独占してきた「自民王国」の牙城を崩した。1区の尾身幸次元財務相(76)、2区の笹川堯党総務会長(73)、3区の谷津義男元農相(75)は議席を失った。